

# まちがいがし

1月第2月曜日 成人の日

1948年に制定された日本の国民の祝日。当初は1月15日でしたが、ハッピーマンデー制度により、1月第2月曜日に変更になりました。

作画：小野寺琴珠(中学2年)



※タッチの違いや色の濃淡はまちがいに含まれません。

## 公民館 市民企画事業

### 中期報告会

12月までに実施された市民企画事業について、実施団体が事業の概要や感想などを報告します。どなたでも参加できます。

時 1月14日(土)10時  
場 谷戸公民館

### 事業案内

#### 日米外交を読み解く

— 安保・沖縄を軸に —  
トランプ氏が新大統領に選ばれ、日米外交はどう変わるでしょうか。マスコミでは報道されない外交事情のお話です。

時 1月22日(日)14時～16時半  
場 柳沢公民館

定 120人(先着順)

講 猿田佐世(新外交イニシア

ティブ事務局長・弁護士)

¥ 100円(資料代)

連 柳田 ☎042・461・3246



## サークルから 催し物案内

役者が語る、能の魅力  
能を知る、学ぶ、感じる

NPO法人東京雑学大学

日本の代表的古典芸能「能楽」の一見わかりにくい能の魅力を、役者が紹介。小謡体験、動画資料鑑賞、舞の実演などで学ぶ。

時 1月15日(日)14時～16時(13時半開場) / 14時～16時(13時半開場) / コール田無 / 出演：青木一郎・青木健一(観世流シテ方楽師) / 参加費500円 / 原 ☎0422・52・0908  
西東京ふれあいこどもまつり

2017

子どもげきじょう西東京

西東京出身の2人の女性アーティストによる歌のコンサート & 参加体験型ワークショップ! 詳細はお問い合わせください。

時 1月29日(日) / コンサート16時半～17時半(大人2千円・子ども500円・割引券あり)、ワークショップ11時～11時40分(無料・要申込) / 保谷こもれびホール / 権藤 ☎042・421・0499

お雛さま作りをしてみませんか?

木目込み人形やよい会

木目込み人形がかわいい立ち雛や五月人形を作ってみませんか。木目込み人形は伝統工芸品です。

1月5日(木)・12日(木)・19日(木)

## サークルから 会員募集

笑顔の太極拳悠有クラブ

### サークルから 会員募集

楽しい仲間と正しい太極拳で心身のリフレッシュ! しませんか。

時 月4回水曜日 / 10時～11時40分 / 田無公民館ほか / 入会金千円 / 月額3千円 / 田中 ☎042・468・5011  
西東京ビデオ同好会

西東京ビデオ同好会

写真をビデオに組み込んで楽しんでみませんか。初心者女性大歓迎。

時 第2・4火曜日 / 14時～17時 / アスタ市民ホールほか / 入会金千円 / 月額500円 / 玉井 ☎042・465・8850  
銀峰会(書道)

銀峰会(書道)

毎回、先生が手本を書かれます。筆の運びがよく分かります。

時 第1・3月曜日 / 10時～12時 / 富士町福祉会館 / 月額2千300円 / 60歳以上対象 / 浦田 ☎042・468・6808

西東京稲門会書道打ち教室

私たちが一緒に、おいしい手打ちそばを打ってみませんか。月2回金曜日 / 9時～12時 / 消費者センター分館 / 入会金千786

## おたのしみ川柳

今月のお題「父」

- ・父親の威厳何処かに置き忘れ 上田政和
- ・母出掛け何故だか父はうれしそう 細谷和範
- ・お父様正月だから言ってみた 大久保アヤ子

編集室では、みなさまの投稿をお待ちしています。氏名・住所・電話番号を記入の上、お近くの公民館に郵送、メール、持参でお寄せください。

3月号のお題「背」です

締切 1月25日(水)

## 教育講座

「ひばりが丘」(共催事業)  
「今日学校に行きたくない」と言われたら...

不登校に悩む子どもたちにどう寄り添いができるか、一緒に考えてみませんか。

時 2月1日(水)10時～12時  
時 ひばりが丘公民館  
対 市内在住・在勤・在学者  
定 30人(申込順)  
講 石井志昂(不登校新聞社編集長)

申 1月10日(火)10時から電話でひばりが丘公民館へ  
※中原小学校施設開放運営協議会との共催事業

## 編集後記

1面に登場いただいた小野さん。取材時におっしゃっていた「人の縁」という言葉が印象的でした。今までも、きっとこれからも「人の縁」が道をつなげていくのでしようね。(み)

## 公運審コソコソ

### 公運審委員となって

公運審委員(保谷中学校長) 大橋 亮介

10月の下旬、本校の中学2年生3名が柳沢公民館にて職場体験をさせていただきました。中学生にとっては、幅広い年齢層が利用する公共施設で職業体験をすることは、たいへん貴重な経験であり、学校・生徒は、地域と共に育つと考えています。

私は、公民館という大人のためのカルチャーセンターというイメージを持っていました。しかし今年度、市内中学校長会代表として公運審委員となり、そのイメージは大きく変わりました。それは、利用者の幅広い年齢層であり、単なる個人やサークル活動の場というだけでなく、公民館は、地域に根ざした情

く、公民館主催の多くのイベントや講座が開かれていることです。公民館は、西東京市教育計画を受け、地域づくりにつなげる視点を持って幅広く学習機会を提供し、課題解決に取り組む市民の主体的な学びを支援する事業を行うところです。

毎回開催される公運審の会議では、各公民館で開催された事業報告と今後の予定が報告され、その対象者は乳児から小中学生成人までであり、その内容も文化・教養・芸術・歴史・科学・地域と多種多様です。そして、そこに参加した市民の方々のコミュニケーションやネットワークも広がっていくことになりま

す。ちょっと私的な考えですが、図書館の棚に分類されている書籍のすべてが、公民館でのイベントや講座だと思えます。まさに、知の宝庫です。

公民館は、地域に根ざした情

## 公民館運営審議会

時 1月25日(水)18時半

場 柳沢公民館

内 事業計画・報告について

連 柳沢公民館

☎042・464・8211

希望する方は傍聴できます